

WHITE & CASE

プレスリリース

報道関係者各位

ホワイト&ケース、 キヤノンメディカルシステムズの R-Pharm 社との ロシア・CIS 地域における機器販売・サービス保守事業の合併事業について助言

2020年6月22日、東京 ... グローバル・ローファームであるホワイト&ケース LLP（以下、ホワイト&ケース）は本日、キヤノンメディカルシステムズ株式会社（以下、キヤノンメディカル）がロシアのヘルスケア大手である R-Pharm Holding, LLC（以下、R-Pharm 社）と、ロシアを含む独立国家共同体（CIS）の 9 カ国*におけるキヤノン製医用画像診断装置の販売およびサービス保守事業を目的とした合弁会社をロシア連邦モスクワ市に設立し、合併事業を展開することに合意した案件について、キヤノンメディカルに助言したことを公表しました。今後、すべての必要な規制のクリアランスを得られた後に合弁会社における事業が開始されます。

ホワイト&ケース東京オフィスの M&A プラクティス共同代表で本案件をリードしたパートナーの宇佐神順は、次のようにコメントしました。「本合併案件は、2019年6月に開催された G20 大阪サミットにおいて日露両国首脳の前で、キヤノンメディカルと R-Pharm 社がロシア国内における戦略的なパートナーシップについて合意して以来進められてきたものです。このように戦略的に重要なロシアにおける合併事業についてキヤノンメディカルを法務面でサポートさせて頂けたことを大変光栄に存じます」

キヤノンメディカルは、疾病の早期診断・早期治療のため、CT、MRI、超音波診断装置、X線診断装置などの画像診断装置や体外診断装置、ヘルスケア IT ソリューションを開発、製造し、世界 150 以上の国や地域に提供しています。R-Pharm Group は、ヘルスケアシステムにおける包括的なソリューションの提供、医薬品・実験装置・医療機器の研究・開発・製造・商品化に力を入れて取り組んでいる会社です。

ホワイト&ケースでは、東京オフィスのパートナーである宇佐神順とモスクワオフィスのパートナーである Igor Ostapets、Irina Dmitrieva の両名が率いるチームが同案件を担当しました。同案件担当チームに参加したその他の弁護士・ロイヤーは次の通りです。（カッコ内は所属オフィス）

【カウンセラー】 朝山志乃、大軒敬子（東京）▽ Pavel Boulatov、Adam Smith（モスクワ）

【アソシエイト】 寺田ジャスティン（フランクフルト、東京）▽ Olga Klyzhenko、Ksenia Tyunik、Ekaterina Palagina、Ekaterina Kamkina、Yulia Akulinina、Evgeny Chernyavsky、Roman Kudryavtsev、Dmitriy Laverychev、Yulian Makarov、Jiutuo Sun、Hanna Vansovich（モスクワ）

* 9 カ国：ロシア、カザフスタン、ベラルーシ、キルギスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、トルクメニスタン、ウズベキスタン、タジキスタン

ホワイト&ケースについて

ホワイト&ケースは、世界 30 カ国 44 拠点を擁する国際的な法律事務所です。米国系法律事務所として早くから国際化を果たし、国境を越えた経済活動において求められるあらゆる法域に関して助言を提供しています。世界各地に所在する拠点を統合したグローバルネットワークの提供する価値と、各地域に米国法、英国法および現地法の弁護士等を擁する体制に基づく国際的法務業務への対応力に対し、クライアントから高い評価を得ており、複雑な国際取引案件や仲裁・訴訟の代理業務などで助言を提供しています。

問い合わせ先

ホワイト&ケース法律事務所

ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所

（外国法共同事業）

土田美由紀

電話：03 6384 3357

Eメール：miyuki.tsuchida@whitecase.com